

青森市バス交通に関する戦略について

平成26年2月18日 都市建設常任委員協議会資料
都市整備部 交通政策課

社会実験バス運行について(概要)

平成25年10月1日から浪岡線(空港経由)、高田線、青い森病院線、入内線、大柳辺線、青柳線において社会実験バスを運行しています。

・浪岡線(空港経由)
(弘南バス株式会社)



・青柳線
(有限会社八洲交通)



・高田線、青い森病院線、入内線、大柳辺線
(青森観光バス株式会社)



社会実験バス運行について(運行に対する評価及び対応)

全体としての評価

6路線とも目立った混乱も無く安全に運行している



引き続き民間バスによる運行を継続して、市民バスの定着を図っていく

各地区における要望及びそれを踏まえた運行方針

【高田地区住民懇話会】12月13日(金):27人参加

- ・高田に来るバスを10時台に運行して欲しい。
- ・高田中学校前17時発のバスを17時15分発にして欲しい。
- ・バス停の案内などをしっかり行って欲しい。
- ・時間帯によってはバスが満員で乗れないときがある。

解決

本格運行の運行方針

- ・懇話会での要望を受け、可能な限り運行時刻を一部変更

【浪岡線住民懇話会】12月10日(火):2人参加

- ・青森駅前バス乗り場の案内が不足している。

【青柳線住民懇話会】12月12日(木):2人参加

- ・市民バスをもっと周知して利用者を増やしていくべきである。

継続

本格運行の運行方針

- ・ルート・時刻表の変更無し
- ・その他の要望は、可能な限り対応

【入内・大柳辺線住民懇話会】12月16日(月):13人参加

- ・途中のバス停で満員になるバスもあるので対応をして欲しい。

市民バス(本格運行)について(概要)

これまでの経緯

- 1 0月 社会実験バス運行開始
- 1 2月 住民懇話会にて4月からの運行方針を決定
条件付き一般競争入札の受付開始
- 1月 入札の実施、運行事業予定者の決定

運行事業予定者

- 浪岡線(空港経由) ……弘南バス株式会社
- 高田線、青い森病院線、入内線、大柳辺線 ……青森観光バス株式会社
- 青柳線 ……有限会社八洲交通

運行期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

運行ルート、時刻表 社会実験バスと同様(一部運行時刻を変更)

バス停留所 社会実験バスの停留所と同じ位置

運賃 社会実験バスと同様の運賃体系(市営バスと同様)

フリールートカード、定期券、フリーパス券、福祉乗車証
市民バス車両でも利用可能

市営バスカード
市民バス車両では使用不可

回数券

バスカードに代わるものとして、社会実験から引き続きバスカードと同じ利用金額の回数券を市民バス車内で発売。市民バス全路線で利用可能。



バスイメージ

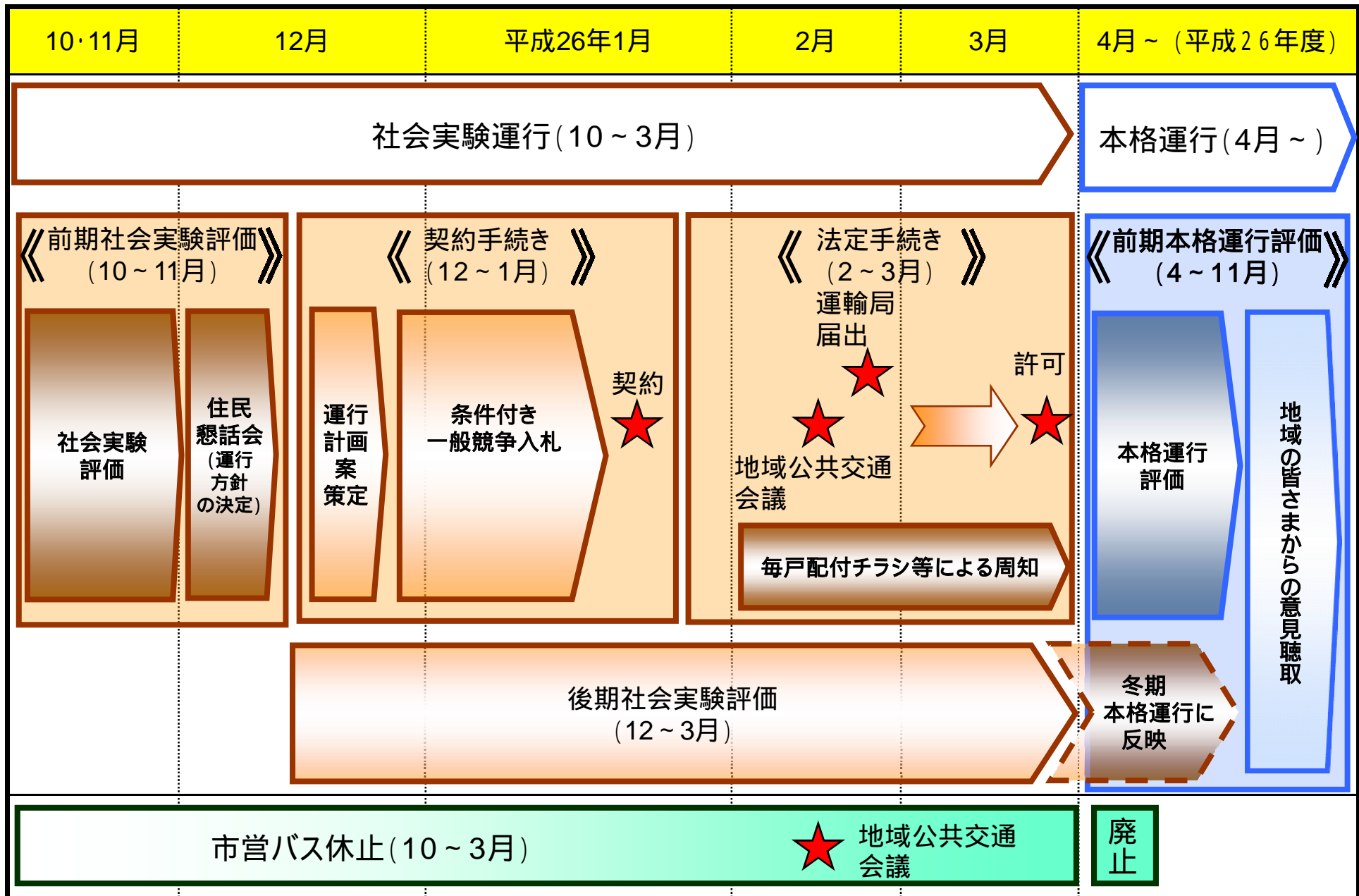
写真は社会実験バス



回数券の種類

種類	発売額(円)	利用金額(円)
普通	1,000	1,100
	3,000	3,360
	5,000	5,850
通学	1,000	1,300
	3,000	4,000
	5,000	6,800
買物	1,000	1,300 (ご利用時間10:00～16:00)

市民バス運行(本格運行)について(スケジュール)



H27以降もPDCAサイクルによる見直しを実施

今後のバス路線再編について

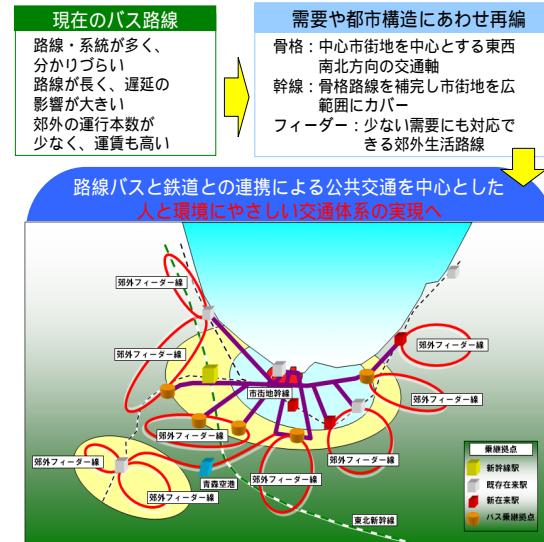
『青森市総合都市交通戦略』 - バス交通に関する戦略 -

持続可能なバス交通としていくための抜本的な路線再編や運営方法の見直しを実施

わかりやすく、利用しやすいバス路線の再編
(骨格線・幹線・支線の区分)

地域との協働・合意形成によって、支線や乗継ポイントを具体的に整理

路線再編後のバスネットワーク



これまで、13路線を調査し、うち浪岡線(大釈迦経由)を除く12路線において、住民との協働方式により社会実験の実施及び市民バスを運行

これまでの取り組みに関するPDCAサイクルに基づく検証 (H25)

H25 社会実験 高田・入内・大柳辺・青い森病院線、浪岡線(空港経由)

青森駅・古川 13往復
イトーヨーカドー 1往復(片道2本)

これまでも中心部への直通便は設定していたが、本路線はほとんどが直通便
乗り継ぎに対する地域の理解が得られない

現状の取り組みでは、路線再編後のバス交通の混乱が懸念される

今後の取組

バスサービス水準の検証作業を行いつつ、今後の取り組みの方向性を整理した上で、H26年度は、バス交通戦略を具体化した公共交通ネットワーク再編の姿を市民に提示し、それらを踏まえたバス路線再編に着手していく。

H26年度社会実験の実施時期は変更する。

今後のバス路線再編について

業務内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
路線再編調査 (住民懇話会による運行計画(案)の作成)	3地区 (5路線)	5地区 (8路線)						
公共交通社会実験 (運行計画(案)に基づく運行)		3地区 (5路線)	5地区 (6路線)					
本格運行 (公共交通社会実験の検証結果に基づく運行)			3地区 (5路線)	5地区 (6路線)				

バス交通戦略を具体化する新たな手法を構築した上で、スケジュールを再整理

本格運行(市民バス)の継続

浪岡線(大釈迦経由)の実施を延期したことによって、H24年度再編調査路線に対してH25社会実験及びH26本格運行路線数が1減となる。

八甲田丸線は廃止

H23年度再編調査、H24年度社会実験、
H25年度本格運路線

孫内線(孫内地区) 岡町線(岡町地区)
矢田・滝沢線、矢田線、滝沢線(矢田・滝沢地区)

H24年度再編調査、H25年度社会実験路線

浪岡線(大釈迦経由、空港経由)(浪岡地区)
高田線、青い森病院線(高田地区、荒川地区) 入内線(入内・大柳辺地区)
大柳辺線(入内・大柳辺地区) 青柳線、八甲田丸線(中心市街地・青柳地区)
浪岡線(大釈迦経由)は調査のみの実施